

町民の声

下仁田町商工会 女性部

千野 光子 様

はじめに、このほどの大雪の災害では過去に例を見ない被害を多くの方が受けられ、遅々として進まぬ除雪作業などにも憤りを感じたことと思います。

この経験を教訓として、今後に生かしていきたいと考えます。
今回の被害を受けた皆様には、心より深くお見舞い申し上げます。

私たち商工会女性部



は、昭和55年に設立し、現在会員数は74名です。女性の特性を生かし豊かなまちづくりの協力者として活動をしています。
事業活動として、私たちは、長年、環境問題に取り組み、廃油を利用した石鹸作りをしています。この石鹸は、各イベ

ントに販売し実演を含め普及に努めています。

また、青岩公園のクリーン清掃に取り組み群馬県の「花と緑のクリーン作戦」にも協力しています。

さらに、「下仁田ジオパーク」や「富岡製糸場と絹遺産群」の一つの「荒船風穴」の世界遺産登録を見据えて、2年前、町との行政懇談会において、青岩公園のトイレ周辺の整備を町へ要望しました。お陰様で、太陽光パネルが併設され、車いすも使用できる近代的なトイレが設置され「下仁田ジオパーク」の表玄関といえる自慢の公園になりました。
一方、親会が主催する産業祭や商業祭ではお手伝いや手作り旨い物出店

を行っています。

さらに、町行政への協力として、「神津牧場の花祭り」や「こんにやく夏祭り」に参加しています。また、2年前から「ねぎサミット」の前哨戦として行った「農業祭・下仁田ねぎ祭り」にも積極的に参加し、町外からお越しいただいたお客様のおもてなしに努めています。

研修会として、「荒船風穴」や「ジオパーク」研修を定期的に行い、特に、下仁田ジオパークの恵みによってできたねぎと蒟蒻をベースにした食文化研修に力を入れています。

昨年より、西南ブロック部長を仰せつかり、群馬県内の会員へも下仁田町へお越しいただいておりますが、再び下仁田の地へ足を向いていただきます様、魅力のあるまちづくりが課題となるかと思えます。
今年、下仁田町は、「荒船風穴」の世界遺産登録や「下仁田ジオパーク」、さらに「全国ねぎサミット」と、飛躍の年となりそうです。

私達商工会女性部としても「おもてなし」の心で町行政と連携し活動したいと思っています。

末尾に、この「議会だより」は、議会・行政の知るすべにおいて重要な役割を果たしていると思います。今後も町民に分かり易く、一人ひとりが町行政に目を向けることを願っています。

自治功労で表彰

去る2月20日に開催された群馬県町村議会議長会で、堀口博志議員は当選以来15年、岩崎正春議員が、当選以来10年の長年に渡り地方自治振興発展に認められ表彰を受けられました。



編集室から

3月定例議会も、全員出席の中、審議、採決をしてまいりました。
年度末の補正と、新年度予算を、とどこおりなく可決を致しました。役場を退職された職員さんは、4名です。永年に渡って、町のためにご尽力くださり、誠にご苦労様でした。また、新規採用の職員は2名です。仕事になれて頑張って頂きたいと思っています。
議会だよりですが、皆様方に出るだけ見やすく、読んでいただける紙面作りを心掛けておりますが、お気づきの点等がございましたら、ぜひ、お知らせをお待ちしております。

広報発行特別委員会
委員長 永井正之
副委員長 千野榮治
委員 原 秀男
岩崎正春
高瀬政信
佐藤勇二